

花きの県別生産出荷概況(10月見通し)

令和3年9月30日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期 期間 (ピーク)	作付面積 ha (前年比)	出荷見込み		10月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
						出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬		
						千本 (前年比)	千本 (前年比)					
バラ	茨城県	施設	アマダ アバランチェ サムライ ほか	周年	1.5 (100%)	400 (100%)		40	30	30	古河市 石岡市 茨城町	・9月の低温な気候の影響で、生育がやや遅れている。 ・病害虫の影響は特になし。
	静岡県	周年	サムライ オール4ラブ ベイブ シンディ	周年 (4~6月)	1.3 (96%)	790 (102%)	580 (102%)	30	30	40	JA掛川市 JAしみず JA大井川 JA静岡市	ST系の出荷量は回復傾向にある。SP系の回復にはまだ時間がかかる見込みで、気候が安定してくれば全体に増加傾向に転じてくる見込み。
ロア メリ リス ト	北海道	周年	アイスクリーム アバランジェ アーロン レモネード	周年 (5・10月)	695 (96%)	4,247 (93%)		33	33	34	岩見沢市 JAいわみざわ	新株出荷が始まり、若干増加する。
トル コ ギ キ ョ ウ	熊本県	施設	ミヨシ系 サカタ系 八江系など	周年	夏秋 14.18ha 冬春 未 (104%)	326 (99%)	- -	35	30	35	熊本市 菊池 やつしろ くま 等	出荷はJAくまは9/27より開始。その他は10月上旬より出荷開始の見込み。出荷のピークは11月中旬以降~12月下旬頃。生育速度は8月長雨の影響もあり遅い。JA菊池では、日照不足により丈が70cmとれるかあやしいとのこと。JA阿蘇では、ヨトウムシの発生も見られた。
	北海道	促成~	ハビネスホワイト モンロー モアナLP マキアLP	8~11月 8~11月 7~10月 7~8月	2,080 (99%)	3,201 (108%)		70 70 100 0	20 30 0 0	10 0 0 0	由仁町 JAそらち南	7~8月ほどの高温ではないが、9月に入っても好天であり前進出荷が進むと予想される。昨年は9月の高温によりかなり切りあがりがあったが、昨年よりも切りあがり早くなる見込み。7~8月の高温の影響により、個人の品質差が例年よりも大きい。
	静岡県	半促成	セレブリッチW セレブピンク	10月~6月 (4~5月)		65 (83%)	44 (83%)		5	30	55	JA静岡市 JA大井川 JAハイナン JA遠州中央

品目	販売における現状と今後の見通し		
バラ	現状	8月後半の天候不順により、国産の入荷は非常に少ない。等階級が短いものが多めで、2Lクラスは特にSPでは少ない。輸入品は昨年同様の入荷となった(大田)。山形、群馬等、高温で上位等級少なく品薄感続く。中旬以降プライダル、敬老の日で高値相場(FAJ)。連休に向けて引き合いが強まる。中下旬から徐々に暖地産の出荷も始まる(世田谷花き)。低日照と夏場の株のストレスで高品質の花がなかなか咲いてこなく、スプレー品種は特にその影響を受けており入荷数量は例年の2~3割少ない(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	高冷地、西南暖地ともに入荷は出揃い、品質、ボリューム共に状態が良くなってくる。婚礼需要多めの為、白系の引き合いが強まる。
		FAJ	静岡、愛知、神奈川等暖地増えて10月中旬以降品質も回復する見込み。例年並みの相場を予想。
		第一花き	
		世田谷花き	各産地数量ともに安定する見込み。需要も安定する見込みだが、引き続き上位等級の引き合いが強いらろう。
東日本板橋花き	天候の回復次第だが、10月上旬ごろに微増の見込み。相場は保ち合いを見込む。		
アルストロメリア	現状	曇天など天候不良の影響で、各産地大きな増加はなく、葬儀需要が中心の取引。山形・長野が徐々に増加するが、彼岸需要等も重なり、問い合わせが増加、品薄な色目もあり、単価高で推移した(大田)。長野、山形、愛知等、曇天の影響で前半少なめも徐々に回復。彼岸含め昨年並み堅調相場続いた(FAJ)。北の産地が徐々に終了。長野県産中心に安定出荷(世田谷花き)。愛知・青森中心の入荷。昨年並みの出荷量。今後の天候次第で入荷増減あり(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	愛知・長野が増加する。白・ピンク・黄色中心だが、紫・赤・オレンジなども徐々に増加する。
		FAJ	長野、山形、愛知等、ほぼ平年並みの入荷を予定。引き続き安定した相場での取引が見込まれる。
		第一花き	
		世田谷花き	秋の需要期で引き続き強い引き合い。品質良くなる。
東日本板橋花き	愛知・青森中心の入荷。昨年並みの出荷量の予定。天候次第で入荷増減あり。		
トルコギキョウ	現状	主産地となる長野、福島、岩手、北海道は、夜温の低下、曇天の影響を受けて開花が遅延。中旬まで出荷数量が少ない状況となった。各色、需要に対して不足気味で推移。彼岸の需要期に入り高値となった(大田)。秋田、山形、福島、長野等、悪天候の影響で昨年対比9割の数量。上位中心に少なく単価高続いた(FAJ)。北海道産は、8月に咲き急いでしまった為、終盤。全国的に、低日照と気温の低下の影響で、咲き足鈍い(世田谷花き)。急な寒さで前半は減少。徐々に前年並みに落ち着くと思われる(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	高冷地は、長野、福島、秋田が作付けがあるが、低温の影響から開花は遅くゆっくりとした出荷となる。暖地は福岡が主産地となり、愛知、静岡、長崎の出荷が始まる。九州方面も今後の状況次第となるが大田の影響はさほど大きくなく、出荷始まる見込み。
		FAJ	秋田、山形等、高冷地に加えて栃木、愛知の暖地が増えるため数量は回復する見込み
		第一花き	
		世田谷花き	長野県産等の秋作の出荷始まる。熊本県産は、8月の大雨の影響で出荷遅れる。
東日本板橋花き	高冷地は前進傾向のため減少。栃木の出荷が始まる。		
りんどう	現状	岩手・秋田共に比較的順調な生育状況となり、納めのピークは17日となった。色物の注文調整あり。岩手は晩生品種の出荷も例年に比べ早いスタートとなった(大田)。岩手、秋田、山形より入荷。彼岸をピークに昨年並み数量。需要期以降は数量も減り弱保合相場(FAJ)。彼岸・敬老の日需要中心に各色強い。紫は笹・深山系が出始める。ピンク系も多い(世田谷)。	
	見通し	大田花き	岩手中心に紫の晩生品種の出荷が前倒しになり、切り上りが早い見込み。ピンクは例年並みの推移だが、一部株枯れ等の影響もあり、品種によっては少ない見込み。
		FAJ	岩手中心に秋田、山形より入荷。徐々に数量は減少していくとともに上位等級も減る見込み。
		第一花き	
世田谷花き	晩生のピンク・笹系中心の入荷。下旬に向けて減少。		
ストック	現状	中旬より早い産地が出始めたが、数量は少ない状況。引き合いに關しても弱い(大田)。	
	見通し	大田花き	スプレー、スタンダードともにメインの山形中心の荷姿となる。需要動向は、徐々に冬物アイテムに変更するお客様が増える。
FAJ	山形、福島、長野等より出荷開始。中旬以降徐々に数量は増えてくる見込み。		